

中小企業支援ネットワーク会議に 菊地副会長が出席

7月3日(水)、秋田県議会棟1階大会議室において、平成25年度秋田県中小企業支援ネットワーク会議が開催され、本会からは菊地成一副会長が出席しました。

この会議は、本会をはじめとした経営支援機関や金融機関及び行政機関等が、中小企業の育成・再生のトータルサポートを行うために構成している「秋田県中小企業支援ネットワーク」の情報共有を図るために、県が主体となって開催したものです。

今回は、構成機関の代表者が参加する「代表者会」として、佐竹知事が議長となって、各団体の代表と意見交換を行いました。今年の活動方針や活動内容等について、始めに県の担当者から、今回のネットワーク会議とは別に、様々な問題に対応するため、「企業連携」「集中支援」「事業承継」の3つのワーキンググループを設置し、年4～6回程度の会議を開催の上、来年度予算作成に向けて11月を目途に中間報告を取りまとめていく方針について、説明がなされました。(下記スキーム図参照)



【会議の様子】

また、引き続き行われた意見交換において、菊地副会長は、「経営者がいなければ会社は無くなる。現状は、社長を譲ると言っても引き受ける従業員が少なく、サラリーマンで良いと考えている人が圧倒的に多い。これは、失敗してしまうとリターンマッチが出来ないシステムに問題がある。県域で解決できる問題ではないが、考えてもらいたい。」と述べました。

本会では、「企業連携」・「集中支援」・「事業承継」のワーキンググループのメンバーとして参画する予定です。

